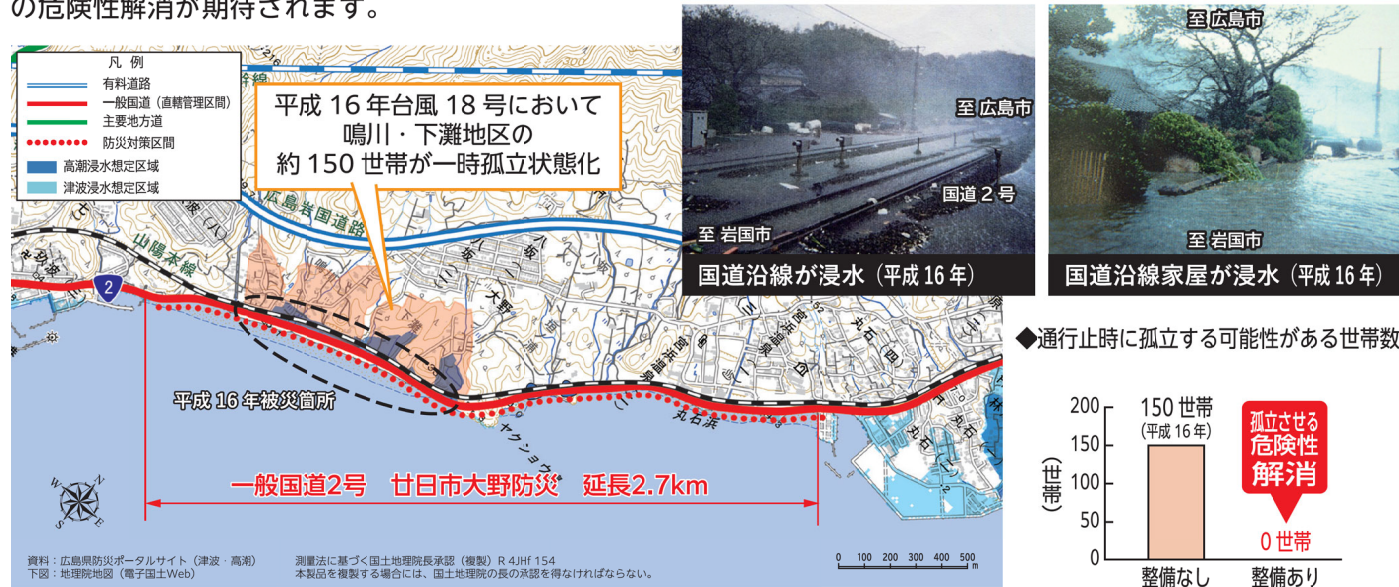


廿日市大野防災の整備効果

効果① 台風・高潮等の災害に強い緊急輸送路の確保及び集落等の孤立の危険性の解消

一般国道2号廿日市市大野地区では、台風や高潮時に越波が発生することが多く、平成16年台風18号の襲来時には、鳴川・下灘地区の約150世帯が一時孤立状態になりました。

廿日市大野防災の整備により、台風・高潮等発生時においても、災害に強い緊急輸送路を確保し、集落の孤立の危険性解消が期待されます。

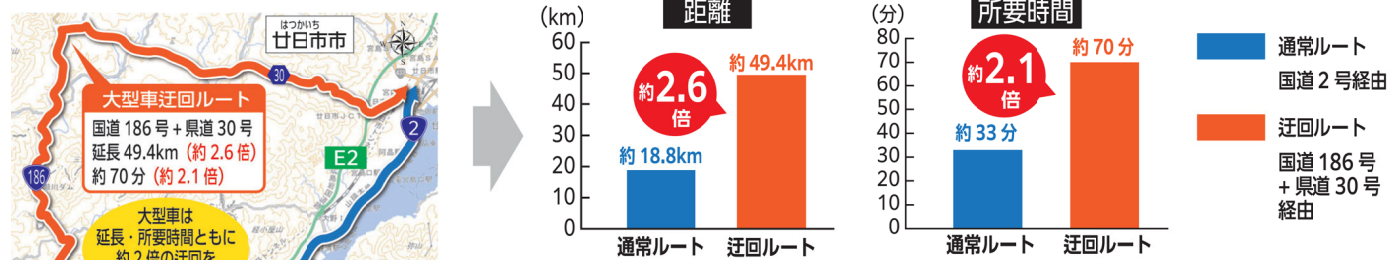


効果② 信頼性の高い道路ネットワークの構築により大幅な迂回を解消し人流・物流の確保

台風時広島岩国道路も通行止めになることが多く、大型車は国道186号と県道30号を用いた大幅な迂回が必要となり、国道2号を利用した場合と比較し、走行距離は約2.6倍、所要時間は約2.1倍となっています。

廿日市大野防災の整備より、通行止めの発生を回避することで、周辺に多く立地する工場等からの物流・輸送安定性が向上し、地域産業の支援が期待されます。

◆国道2号通行止め時の大型車の迂回状況



国道2号 廿日市大野防災



国土交通省 中国地方整備局 広島国道事務所 **H**こみにちは!ひろくです

〒734-0022 広島市南区東雲2丁目13番28号
TEL (082) 281-4131 FAX (082) 286-7897
ホームページ <https://www.cgr.mlit.go.jp/hirokoku/>

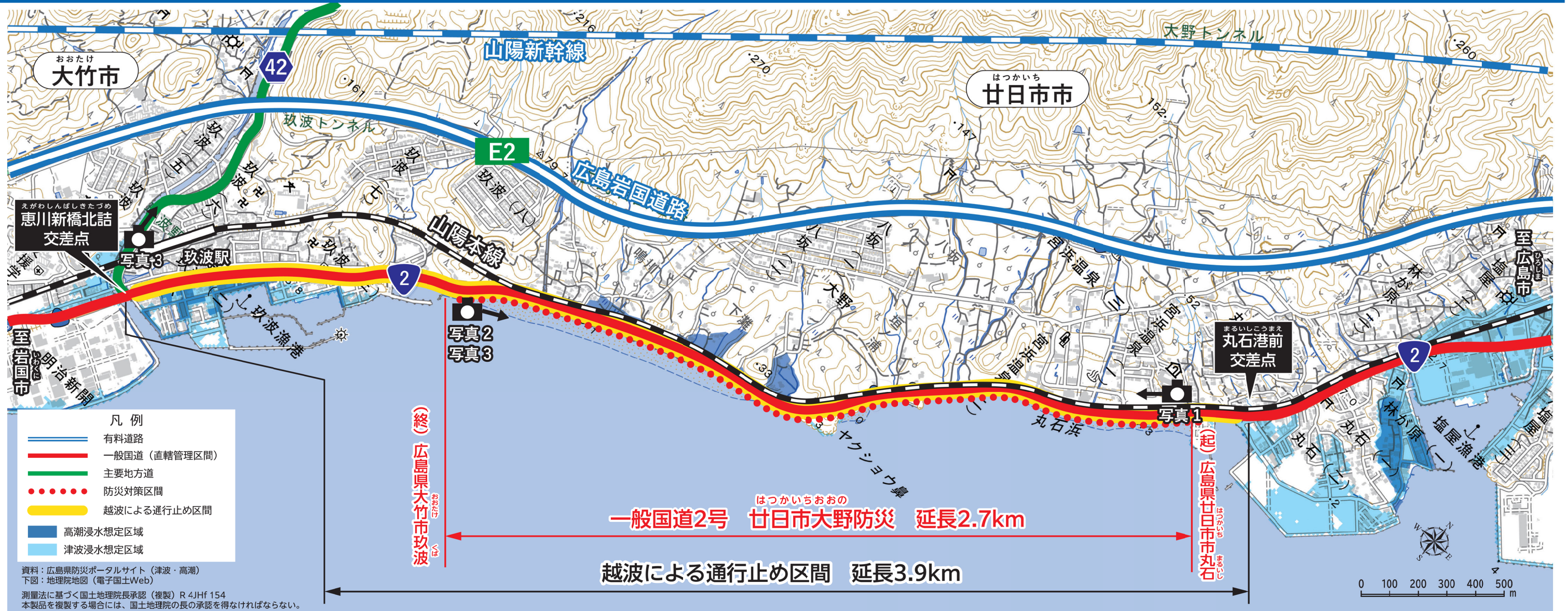


道路緊急
ダイヤル
無料

道路の異状を発見したら…
緊急
通報
#9910
24時間
受付

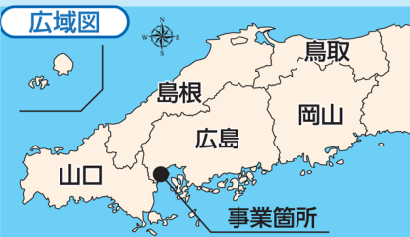
国土交通省 中国地方整備局
広島国道事務所

平面図



廿日市大野防災の概要

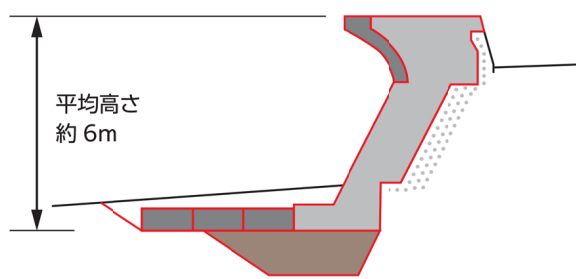
国道2号は、大阪府大阪市と福岡県北九州市門司区を結ぶ主要な幹線道路です。廿日市大野防災は、越波被害が多く発生している一般国道2号廿日市市大野地区の防災対策事業です。台風・高潮等の災害に強い緊急輸送路の確保、集落等の孤立の危険性を回避します。また、信頼性の高い道路ネットワークを構築することで、大幅な迂回を解消し、人流・物流の確保が期待されます。



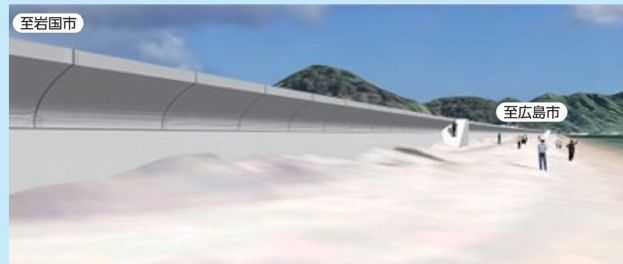
事業概要

事業名	一般国道廿日市大野防災
延長	2.7km
起点	広島県廿日市市丸石
終点	広島県大竹市玖波
事業化年度	令和4年度

標準横断面



整備イメージ



一般国道2号廿日市大野道路周辺における課題

平成11年度以降、越波による通行止めが7回発生しており、最大で6時間50分の全面通行止めが発生しています。国道2号当該区間が通行止めとなった場合、普通車は山側の生活道路を迂回する必要があり、混雑や安全面で課題があります。

【写真1】越波による浮遊物の打ち上がり
平成11年9月24日



【写真2】台風の襲来による越波の状況
令和4年9月6日 9時台



【写真3】台風の襲来による越波の状況
令和2年9月8日 9時台



過去の越波による通行止め（平成11年度以降）

年度	日時	全面通行止め時間	台風名
平成11	9月24日	6時間50分(9:40~16:30)	台風18号
平成16	9月7日	6時間10分(12:50~19:00)	台風18号
平成17	9月6~7日	4時間40分(22:00~翌2:40)	台風14号
平成18	9月17~18日	6時間10分(22:00~翌4:10)	台風13号
令和1	9月23日	3時間55分(1:30~5:25)	台風17号
令和2	9月7日	6時間50分(9:00~15:50)	台風10号
令和4	9月6日	6時間20分(8:10~14:30)	台風11号